

燕市・西蒲原郡小学校研究会国語部

国語部長 関 昌子

1 研究主題 思いや考えを伝え合う授業の工夫

2 研究の概要 <国語部会員数 16校 26名>

(1) 第1回研究会 講演会 6月1日(水) 14:30~16:40

指導者 県立教育センター指導主事 浅野 秀之 様
会場 吉田産業会館

主な内容 ○M社の国語教科書の特徴(燕市は今年度よりM社を採択)
○新学習指導要領による国語授業のあり方
○M社の国語教科書を用いた師範授業

M社の教科書編集の特徴を知ること、教科書をどのように有効活用すればよいのか、具体的に学んだ。

また、実際に3年、5年の教科書を用いた師範授業では、書く活動において「型」や「書き方」を示すこと、段落や文、語句への注目のさせ方として、色分けをする時、サイドラインを引く時、○で囲む時の使い分けについて学んだ。

(2) 第2回研究会 授業研究 11月30日(水) 14:00~16:40

指導者 燕市立吉田南小学校教頭 山崎 勝之 様
授業者 燕市立松長小学校教諭 小山 恭子

①授業の概要

単元名 くらべてよもう 「じとう車くらべ」 (1年生)

単元の目標

○自動車についての説明文や絵本・図鑑を読もうとすることができる。

(関心、意欲、態度)

○問いかけの文とそれに対応する答えの文など、説明文の組み立てに着目して文章を読み取ることができる。(読む)

○自動車の「しごと」と「つくり」について書きたいことを決め、文章を書こうとする。(書く)

②協議・指導

5グループに分かれ、ブレインストーミングとKJ法を用いて、協議を行った。

単元構成、発問、教材提示、板書、音読などについて意見が多く出た。

指導者からは、「言葉を基に思考する」ことについて、「形式」と「内容」の比較が必要であること、オリジナルの文章を書くために何と何が必要であったのか、単元や本時レベルで指導をいただいた。

参加者全員が、自分の思いを「伝え合う」ことのできた研修となった。